



つながろう やりぬこう

コミュニティ・スクール

富士市立神戸小学校
令和2年12月1日発行
第5号

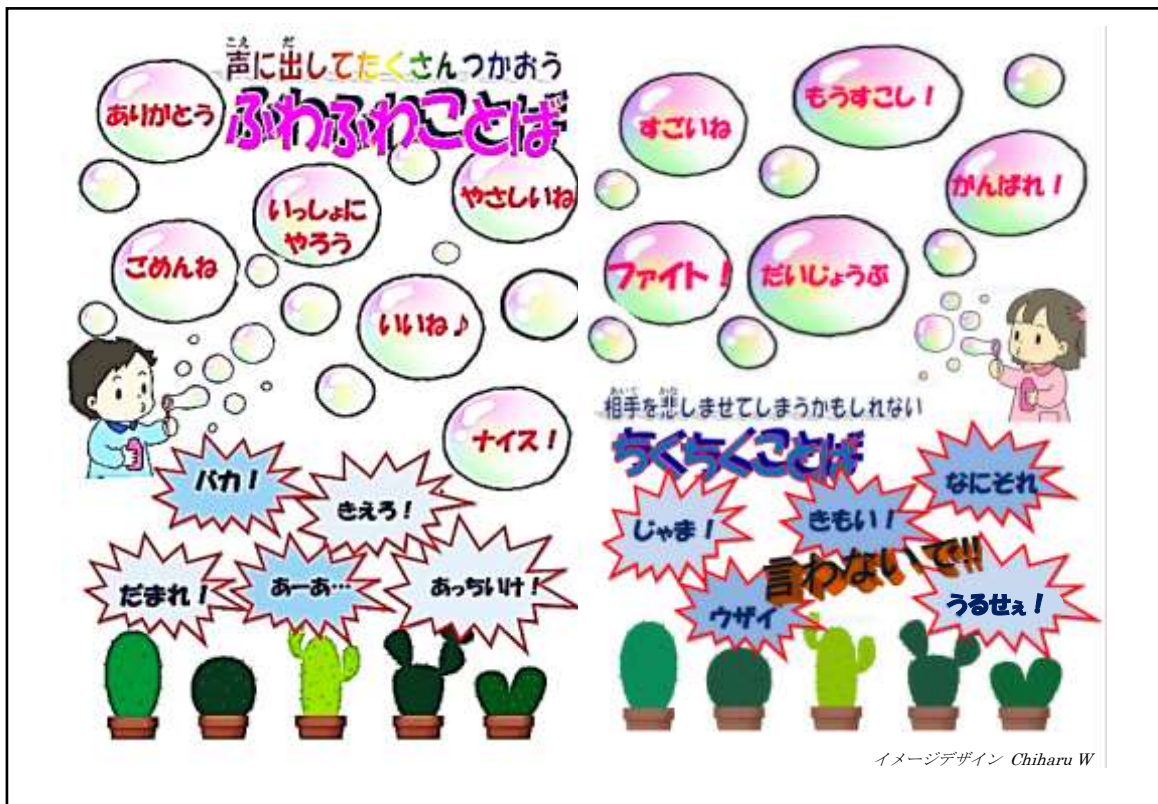
CSだより



今、学校では…今年度の重点目標「あいさついっぱい やさしさいっぱい」に注目！

11月2日の朝礼は久しぶりに体育館に全校児童が集まって校長先生からのお話を聞きました。テーマはふわふわ言葉とちくちく言葉でした。ちくちく言葉（悲しく、人を傷つける言葉）は使わず、ふわふわ言葉（うれしく明るくなる言葉、人を元気にする言葉）をたくさん使ってやさしさいっぱいの神戸小学校になりますようにとお話がありました。

11月の学校生活の中で「今日ふわふわ言葉もらって嬉しかった♪」「さっき、ちくちく言葉言っちゃった…。」そんな子どもたちの会話を多く耳にするようになりました。皆さんも、普段の生活の中でちょっぴり意識してふわふわ言葉をたくさん使ってみてください。



イメージデザイン Chiharu W

前期学校評価の結果より

子どもたちが重点目標を意識していることが感じられ、学校では昨年度より活発なあいさつが聞こえてきます。地域の皆さんにとっては、現在の子どものあいさつが「良くてできる」「まだまだだな」「積極的には出来ていない」など様々な印象をお持ちだと思いますので、大人からの声掛けを是非お願いします。

大人が見本になって積極的に声掛けをし、あいさつを通じて交流できる地域、児童の見守り、健全育成などに地域ぐるみで取り組んでいきましょう。



第2回学校運営協議会報告

令和2年11月6日(金)パソコン室にて開催しました。9月に授業参観も実施したので、委員の皆さんにも初めて校内の様子と授業風景を廊下から参観していただきました。各委員から、様々な意見や感想があげられましたのでご報告いたします。

- 前期学校評価の結果から、コロナ禍の中で児童と保護者はおおむね学校側の対応に理解を示してくれていたが、教師側は休校が多く集団活動が制限されているために例年との比較が謙遜的な結果となっている。全体的には肯定的な評価結果として捉えることが出来る。今後新しい生活様式の中で更に工夫しながら取り組んでいきたい。
- 全体的に今年度の重点目標「あいさついっぱい やさしさいっぱい」が評価された結果となった。「あいさつ」に関しては各委員からもそれぞれの見地で多くのご意見を伺え、今後も大人が見本になって積極的に声掛けをし、あいさつを通じて交流できる地域、児童の見守り、健全育成などに地域ぐるみで取り組んでいきたい。
- 今年度の学校行事は(地域の行事も)コロナ禍の影響でほとんどが中止、もしくは規模縮小となってしまった。その中で最大限工夫して安全を最優先して児童の思い出に残るものも実施できたと思う。今後もその時々の情勢に応じた臨機応変な対応にて工夫して取り組む。
- 神戸地区の地域性として、学校と地域は比較的友好的な関係を築いてきた。今後も情報を共有し、意見交換や話し合いを持って相互理解を深め、よい関係を続けていく。

子どもたちの応援団

子どもたちが楽しく心豊かに学校生活を送るために、たくさんの応援団が支えてくださっています。随時ご紹介させていただきます。



神戸1丁目の
渡邊富士夫さん
今回はジャンボ松ぼ
っくりを1年生全員の
工作のために手配して
くださいました。



購買とトイレ清掃のボランティア

今宮の勝亦千晴さん
毎週月曜日にお世話になっています。



竹松敏雄さん(神戸1丁目)



渡邊保子さん(神戸1丁目)



昨年度の非常勤講師 松下春美さん



学習支援員の齊藤幸代さん



CSディレクターの渡邊も(神戸1丁目)

☆「ふれあい協力員」募集中! お問い合わせ先: 神戸小学校 電話 21-2192 CSディレクター渡邊千春